

H30年度地方創生交付金採択事業の状況 (中間報告)

うきは市ルネッサンス戦略（総合戦略）の方向性

<p>基本理念</p>	<p>I コミュニティの創造的再生 II 産業の創造的再生 III 地域の創造的再生</p>	<p>基本方針とKPI</p>	<p>基本方針①:うきはの資源活用と新たな雇用の創出 数値目標:高校卒業世代(15歳～19歳の年齢階層)における市外への流出率を、現状の17.4%から2019年には15.4%へ低下させる。</p> <p>基本方針②:地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み 数値目標:うきは市へのIターン者を、現状の年間30人から2019年には50人に増加させる。</p> <p>基本方針③:結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市 数値目標:うきは市の出生率を、現在の1.53から2019年には1.63まで上昇させる。</p> <p>基本方針④:時代にあったうきはの地域づくりと広域的な地域間連携 数値目標:現在年間15件(内人的交流を伴うもの:7件)実施されている広域的連携事業(単なる会議等は除く)を、2019年までにスクラップ・アンド・ビルドを含め、全体として20件(内人的交流を伴うもの:10件)に拡大する。</p>
-------------	--	-----------------	---

基本方針	プロジェクト
<p>① うきはの資源活用と新たな雇用の創出</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 藤波ダム周辺地域産楽連携空間形成プロジェクト 2. うきはブランド形成プロジェクト 3. 温泉・健康ツーリズムプロジェクト 4. 地域資源を宝にするのだ！わたしの起業プロジェクト 5. うきはの“しごと”拡大プロジェクト 6. うきはの“農業・林業”拡大プロジェクト 7. 地理的環境分析に基づく農業等の戦略的ブランド化プロジェクト
<p>② 地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジョブマッチング空き家対策プロジェクト 2. 災害に強い安全安心なまちづくりプロジェクト 3. 輝け地域の宝にぎわい創出プロジェクト 4. 2020年日本書紀1300年をターゲットとしたうきはの歴史資源活用型「時空のネットワーク」形成プロジェクト
<p>③ 結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子は地域の宝プロジェクト 2. うきはっ子夢・学力向上プロジェクト 3. 市民総出の健康増進プロジェクト 4. 健康うきははプレミアムエイジプロジェクト 5. 重点道の駅整備プロジェクト
<p>④ 時代にあったうきはの地域づくりと広域的な地域間連携</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個性ある地域・人づくりプロジェクト 2. 福岡トライアングル都市圏形成プロジェクト 3. 耳納北麓連携プロジェクト 4. 生葉の未来創造プロジェクト 5. 筑後川上中流域ネットワークプロジェクト 6. 超広域市町村ネットワーク強化プロジェクト

色付けは実施中のプロジェクト

平成30年度地方創生推進交付金採択事業状況

採択事業名	事業名	事業項目	事業の目的と概要	総合戦略		所管	事業費(予算)千円	(10月1日現在)進捗状況と今後の展開	
				基本方針	アロシ外				
1. うきはの地域資源を活かした文化資本の形成を基盤とする、新たな教育・学習環境の整備による地方創生人材の育成	多様な教育機会の整備	多面的学習機会の提供	小中学生世代をターゲットに、学校以外の地域社会と連携した学びの機会や自らが社会参画する機会を持つことにより、地域への帰属意識を高める	③	2.	学校教育課	8,574	・適応指導教室において、日々の学習活動だけでなく、福岡市民防災センターへ社会科見学へ行き、災害時の避難行動などを学んだり、夏休みにキャンプを行い、自分たちで協力して料理などを行うなどして協調性も学んだ。今後も学校復帰に向け、様々な活動を行っていく。 ・部活動外部指導者の配置により、中学校の各部活動において、着実に力をつけている。教職員の負担軽減にも寄与しており、部活動外部指導者が教職員、生徒どちらにおいても好影響を与えている。	
		寺子屋事業	小学生をターゲットに、久留米大学生や浮羽実習館高校生生徒、教員等との連携の元、自ら学ぶ意欲の向上を図る	③	2.	生涯学習課	2,372	5/26開校、土曜日に実施中、年25回中12回実施済み。 市内小学1～6年児童124名申込、延べ879名参加。参加費無料。傷害保険料200円・検定料実費 支援員90名(うち久留米大23名、実習館高47名、一般20名)参加 【今後】3/2開校、漢字検定2回、算数検定2回、歴史体験学習(高学年対象)1回、パルーンアート体験学習(低学年対象)1回、昔話読み聞かせ(高学年対象)1回実施予定	
		うきはっ子の豊かな心育成事業	未就学児にリトミック教育など人間の感性を活かす教育の場の提供。また、小学生を対象に地域との交流や自然体験を通じ、将来のうきは市を担う子ども達の郷土愛や自立心を育成する	③	2.	福祉事務所/生涯学習課	9,193	(保育所係) ・子どもの自立心や感性、生活習慣を身につけるために、市内の公立・私立9園の保育所・幼稚園等の児童を対象にリトミック教育を各園年3回を目途に実施中。さらに、豊かな心を育成するために文化教育として、市内9園の保育所等及び8ヶ所の学童保育所でオーストラリア人の講師による英語を使った取組みを月1回実施している。学童保育所では、夏休み期間中(7/25から7/28)オランダ人の講師による音を使った文化交流を実施した。冬休み期間中に2回目の文化交流の実施を予定している。 (社会教育係) ・市内小学4～6年児童60名参加。子ども未来学部 体験学習参加費(3セット事業 1名18,000円) ・鷹取登山 6/2～3実施済み、杵岐島自然体験 8/7～10実施済み、子ども議会 8/25実施済み。	
	アート・文化資本醸成	国際連携・文化資本創出事業	子どもや子育て世代をターゲットに、アーティストを世界から呼び込み、文化資本の醸成を図るとともに、市内の文化的資源を対外的に発信し文化資本の形成を育む	③	2.	うきはブランド推進課	2,820	・日欄建築文化協会 建築ワークショップ(10月23日～26日) オランダの建築指導者4名、大学生12名でうきは市吉井町を中心とした伝統的建造物群保存地区の活用法等のワークショップを実施した。 3つ施設(鏡田屋敷、うきは駅、姫治小)をテーマに成果発表会を最終日に実施した。 ・オランダ室内楽コンサート(11月17日実施予定) 世界一のオーケストラとして名高いオランダ王立管弦楽団の現役楽団員により構成される室内楽団「ムジカ・ムアーレ」によるうきは講演をうきは市民センターで実施予定。2部講演で定員各100名。 ・フューチャー(木アート事業)	
	女性活躍支援	女性活躍人材育成事業	女性をターゲットに、地域の文化資本を活用し、「小さな起業」等を通じて自らが積極的に社会参画していくとともに、積極的に子育てに対応していくための環境を整備する	①	5.	男女共同参画推進室	1,000	・女性が起業するため必要な知識を習得できるよう支援講座として5/15「魅力UP!骨格で見るコーディネート講座」(15名)、4/21と8/25「足元の宝!野草の活用講座」(16名と12名)、4/23と4/26「食品加工を学ぶのだ講座:前期」(各9名)、5/9と5/16「商品の魅力発信!屋外&室内の写真撮影講座」(各9名)を実施した。 ・今後の開催講座予定は「食品加工を学ぶのだ講座:後期」、「食品の表示を学ぶのだ講座」、「ミニ評議会/バイヤーに磨かれよう講座」、「好きなことを仕事にしよう講座」、「目指せ魅力UP!メイクアップ講座」、「デスクワーカーのための基礎ワード講座」、「デスクワーカーのためのパワーポイント&テンプレート活用講座」、「初心者のためのホームページ制作講座」で、女性が意欲的に行動をおこして起業できるようきっかけをつくり積極的な社会参画につなげていく。	
	人的資源の活用	まちごとクラウドソーシング	地域の多様な人材をデータベース化し積極的に活用することで地域自らが内発的に人材を育成する仕組みを作る	③	4.	うきはブランド推進課	750	浮羽まるごと博物館協議会による活動へ補助を行い、地域で活躍する団体や市民の醸成に取り組む。 ・年間を通じて棚田の営農を学ぶ取り組み(棚田まなび隊(現在13回/14回実施) ・うきはのことをお知らせする展示(MUJIチャンネルシティ博多内) ・5月7日(月)～20日(日)情報展示 ※5/13(日)うきはの山の展示【木の家】※5/20(日)棚田田植えへ導入 ・7月9日(月)～22日(日)情報展示 ※7/15(日)棚田米と日本酒【まなび隊&いそのさわ】※7/22(日)棚田草刈り ・9月17日(月)～30日(日)情報展示 ※9/16(日)関連イベント【うきはの麵】※9/30(日)稲刈りへ導入 ・11月5日(月)～18日(日)情報展示 ※11/11(日)関連イベント【うきはの水について】 ・12月9日(日)しめ縄つくりワークショップ以上MUJIチャンネルシティ ・昨年度制作した嫩葉会の葉 ミノウブクトークイベント⇒6月28日(木)19:00～実施 ・エコミュージアムの先進地視察予定:12月6日(木)、7日(金)にかけて「萩まちじゅう博物館」の取り組みを予定	
		うきは市民大業	すべての世代をターゲットに、自ら学び一人ひとりが持つ特性や能力を活かして地域に還元していく人材づくりを進める	③	4.	生涯学習課	4,192	主にいきいき・地方創生学部を担当するコーディネーターを1名雇用し、高齢者の健康と生きがいづくり、高齢者学習の充実と郷土愛や福祉の心、ボランティア精神の育成を担う。 4/25開講、子ども未来・いきいき・一般教養・地方創生・男女共同参画の5学部を展開 受講生数: 子ども未来 寺子屋 124名、米粉パン作り 28組71名、親子陶芸 54組127名、体験学習 60名、いきいき 341名、一般教養 547名、地方創生 172名、男女共同参画 204名、久留米大特別公開講座 191名、計 1,837名 ・米粉パン作り 8/1～2計2回、にじの耳納の里にて実施済み(1組500円) ・親子陶芸 7/28～29午前午後の計4回、うきは市土の詩を講師に実施済み ・久留米大特別公開講座 9/1～22の土曜日計6コマ「うきは学～筑後川の中流域うきは市周辺の歴史と社会、文化を再考察して、うきは市の将来展望を考える」 【今後】3/3開講	
								28,901	

採択事業名	事業名	事業項目	事業の目的と概要	総合戦略		所管	事業費 (予算) 千円	(10月1日現在)進捗状況と今後の展開
				基本方針	プロジェクト外			
2 ブランディングによる農林水産業の基幹産業化	県産農林水産物の販売・消費の拡大	うきはテロワールプロモーション事業	うきはテロワールプロモーションを通じた農林水産物の新たなプロモーションモデル開拓(環境調査分析)	①-	7.	うきはブランド推進課	15,000	<ul style="list-style-type: none"> うきはのブランディングを確立させるため、これまで進めてきた「うきはテロワール」を基に、「うきは」という地域ブランドの認知度向上さらには推進、定着を図るため、各種プロモーションを行う。 (1)講演や公表資料などでの「うきは市」を紹介する場合等に、統一したテンプレートをパワーポイントで企画制作を行う。 (2)市のHPで昨年開設した「うきはテロワール」サイトの追加、トップページのリニューアル、市の関連サイト等を再構築する。 (3)外販等で使用する移動用物販ブース等を製作する。 (4)首都圏を含む物産イベントへの出店、展示等で使用するツール等も併せて製作する。また、チャンネルシティ博多でのオープンMUJIにてうきはテロワールのプロモーションを実施 うきはテロワールプロモーション委託:アマナ(株) (5)昨年制作したテロワールの名刺テンプレート等を活用して、印刷システムを構築する。
		高付加価値農業推進事業	うきはテロワールをバックグラウンドとした農産物商品の試作及びイベントコーディネート実施による高付加価値農業の推進	①-	5.	うきはブランド推進課	1,500	<ul style="list-style-type: none"> うきはフルーツエールの開発製造・テストマーケティングを実施した。ぶどう(BKシードレス)商品については、道の駅うきはにてテスト販売し、新聞等のPR効果もあり売上も順調。桃ピューレによるビール開発についても、実施中。 フルーツビール開発製造、パッケージ、マーケティング:うきはの里株式会社・kawasemidezainn 贈答品販売用として、フルーツエール2本入りのパッケージをデザイン、制作した。
	意欲ある担い手の育成・確保	農業マーケティング塾	新規農業者の育成支援及び中山間地の農業振興を推進し、水稲に代わる野菜の振興を図り、担い手の経営力の強化を促進する	①-	6. ①-7.	農林振興課	10,500	<ul style="list-style-type: none"> ・レインボーファームにおける研修生3名のうち、1名は8月で卒業し就農に向け準備中。2名は継続して研修中。 ・中山間地農業振興、担い手確保を図るため、既存の作物を含め実証栽培を実施。併せて既存作物の収量向上を図るため、鳥獣被害防止対策として、ワイヤーメッシュに目隠しシートを設置して実証栽培を実施中。 ・荒地対策として地域と連携し真美野地区への企業参入を協議中。 ・野菜の振興を図っていくためJA等関係機関と支援について検討中。今後、葉物野菜類等を出荷する農家(団体・個人)へ規模拡大のための補助制度を創設し、農業の振興を図る
	魅力ある農山漁村づくりの推進	農的水循環環境調査	うきは市の農業環境の優位性を分析するため、地下水等の農的水環境の調査を実施する	①-	7.	水資源対策室	15,585	<ul style="list-style-type: none"> ・連続観測調査(井戸5カ所選定9月間観測)【観測中】、水質調査10カ所【実施済】、地下水流動モデル構築【実施済】(今後の予定) ・現況の地下水賦存量・地下水収支の算定 ・適正揚水量の検討に資する予測解析 ・水質検査(河川9カ所、地下水22カ所)【11月実施】 ・総合検討、普及啓発資料の作成
		農的空間整備事業	文化財を農村資源として活用するためのガイドライン等整備による農的空間の整備	②-	4.	生涯学習課	18,817	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者を決定し、今年度で最終となる屋形古墳群周辺の実施設計のための詳細な協議を進めている。 ・具体的には、昨年度実施した境界確定時に生じた設計変更箇所の確認と、史跡指定地内は文化庁の補助対象事業となるため、対象となる範囲を外す作業を行い、実施設計に反映させるため、公共土木係で道路の仕様等の確認を行った。 ・今後、地元説明会を開催し、地元住民の意見を集約し、実施設計を完成させる予定である。
							61,402	

採択事業名	事業名	事業項目	事業の目的と概要	総合戦略		所管	事業費(予算)千円	(10月1日現在)進捗状況と今後の展開
				基本方針	プロジェクト外			
3・地域間連携による「稼ぐ力」・「新たな人の流れ」創出プロジェクト	地域資源を活かした地域の稼ぐ力の向上に向けた取り組みの競争と共有化	うきはの地域資源を活かした稼ぐ力の強化に結びつける(DMOと創業支援)	地域総合商社を核とした観光交流拠点支援事業を展開し、観光・外販活動を行う	①-2.		うきはブランド推進課	18,305	(ブランド戦略係) <ul style="list-style-type: none"> ・地域総合商社観光・外販支援事業(体験型観光プラン実施に向けた可能性調査・試行業務)：NPO法人うきはのあん 毎週1回関係者による企画会議や事業者へのヒアリング等を実施し、体験プログラムを検討・協議している。各月テーマを決め、着地型体験プログラム、ウキハコワークショップを8月より実施している。 ・これまで開発した体験プログラム(着地型体験プログラム)藤波ダム社会科見学会、アスバラ収穫体験、四方竹収穫イベント、木工ワークショップ、めだか博覧会、耳つぼ体験 (商工振興係) ・地域資源活用事業・産業連携事業補助金は審査会が終了し、事業実行中(アドバイザー謝金は支払済み)。 ・創業支援事業運営業務委託料は「創業スタートアップセミナー」を8、9月に終了。支払済み。 ・創業支援ポータルサイトは引き続き稼働中。 ・地域産業資源映像アーカイブ事業は現在実施中。Youtubeページは稼働中。職員向けドローン講習会開催に向け準備中。 ・地元企業魅力発信事業は現在実施中。年内の納品を目指す。 ・子育てファミリーお出かけマップは今年度後半作成予定。年度内納品予定。 ・官学金連携市内事業者紹介事業は毎月広報15日号に記事を掲載中。久留米大学の学生による記事を筑後信用金庫が編集。
	連携市町の各自の強みを活かした資源の最大活用	観光総合プロモーションを核とした情報発信事業Ⅱ期	観光総合プロモーションを核とした情報発信事業(フルーツ観光の推進、ブランドの情報発信、インバウンド型観光の発掘等)。観光協会と総合商社等との連携強化とうきは市を題材とした映画製作プロモーション	③-5.		うきはブランド推進課	50,000	【地域総合商社・DMO経営定着化支援業務】 <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人うきはのあん(DMOマネージャー)を中心に、観光コンシェルジュ等も配置しながら、ウキハコを主体とした観光コンシェルジュ機能向上、観光プログラム開発支援等のDMO事業を推進している。毎週1回関係者による定例ミーティングを行い、施設運営やDMO等についての情報共有、課題解決の協議を行っている。 【総合観光プロモーション事業】 ・観光協会の事務局を中心に、市外また県外に向けたプロモーション活動や、市内で開催されるイベントの運営等を行っている。毎週1回関係者による定例会を行い、各観光情報等について情報の共有、課題解決の協議を行っている。 【吉井・御幸小観光教育】：リサーチ&ソリューション ・観光アプリを通じた、観光まちづくり、ICT教育を吉井小学校、御幸小学校の2校で実施している。観光座学やフィールドワークを行いながら、子どもたちのおすすめ観光コースを作成し、観光アプリに反映していく。 【フィルムコミッション】 ・H30年10月 業務委託(予定)
	圏域自治体の連携による一体的な魅力の創造・発信の完全自立化や情報発信事業の拡充、定住人口確保に向けた取り組み展開	アンテナショップを活用したうきはは地域活性化事業Ⅱ期	観光客や移住者の増加による市内の雇用への流れや所得向上を目指して「しごと」と「ひと」の好循環サイクルの確立につなぐ	①-2. ①-5. ③-5.		うきはブランド推進課	6,166	<ul style="list-style-type: none"> ・東京アンテナショップを活用したうきは市の情報の発信・特産品等の情報提供を行う。また、東京アンテナショップへの商品等提供に係る事業者訪問、PRイベント等に係る市内事業者の商品等調整を行う。 ・うきははテロワール・フルーツ王国うきはをPRする「フルーツカレンダーチャリン」を5,000部増刷
							74,471	

採択事業名	事業名	事業項目	事業の目的と概要	総合戦略		所管	事業費(予算)千円	(10月1日現在)進捗状況と今後の展開
				基本方針	プロジェクト外			
4. 筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立的産業クラスターの形成	林業振興事業	人材育成・資源活用事業	林業・木材産業に係るヒト・モノ等の資源を活用し、持続可能な林業振興を図る	①-	6.	農林振興課	10,000	・昨年度実施した航空レーザ計測データを現地で簡便に確認できるタブレットシステムの整備を図るほか、ドローンを活用した立木測定等のシステム導入など林業のICT化を図り、生産性を向上させるため林業事業者等を対象とした講習会を11月に開催予定。また、地域おこし協力隊制度を活用した林業分野での人材確保のため、平成31年度採用に向けて関係者のヒアリングを進め、受入可能な体制整備及び募集要綱案を検討中。
	木材関連産業活性化事業	木材関連産業活性化プロモーション事業 木質資源活用による新商品開発	効率的な素材生産を推進し、地域林業の振興を図り、林産物の付加価値と林家所得の向上を目指して、木材関連産業の活性化と情報発信に関わる事業を展開する	①-	6.	農林振興課	12,000	・うきは市有林の森林認証取得に向けた必要事項を整理し、平成31年度に県内初の森林認証取得に向けた整備を進める。また、市内の林業事業者、製材業者を対象に森林認証取得に対する理解の醸成を図り、認証制度の普及を支援するため、認証制度に関する勉強会を11月中旬に開催予定。 ・豊富な森林資源とうきは市特有の観光産業等を連携させ、新たな木材の利活用を検討中。うきは市の魅力を再発掘するためのバスツアーを8月下旬に開催。木材の利活用に関わるよう、まずはうきは市のヒト・モノを掘り下げ、林業関係者だけでなく多くの方々と意見交換を進めることとし、10月3日に1回目のワークショップを開催。今後、年度末までに2回程度開催予定であり、新商品開発に向けて検討を進める。
	木質バイオマス推進事業	木質バイオマス普及推進事業	間伐材、除伐材の有効活用を図り、地域内の経済、エネルギー循環を高めるための方策のひとつとして、木質バイオマスエネルギーの活用について事業化を図る	①-	6.	企画財政課	4,000	・市内における薪ストーブの普及や薪の生産を推進し、再生エネルギーの利用を推進させるため、普及推進業務について業者委託し、現在、取り組みを進めている。平成31年1月に薪ストーブに関するイベントを実施する方向で、現在委託業者や関係者と打ち合わせを行っており、次年度以降の薪(再生エネルギー)の普及の取り組みに繋げていく。 ・浮羽森林組合の薪生産を支援するため、薪割機を購入し、使用貸借契約を交わして、薪割機を提供した。森林組合で生産した薪は今冬から実際に使用して、販売化に向けて改良や参考にする予定である。
	森林空間活用ビジネス創造事業	森林健康アウトドアビジネス構築事業	森林空間を癒しの場、健康増進の場としてより一層活用することにより、森林セラピー事業を核に新たなビジネスの集積を高め、山間部の雇用創出に結びつける	③-	3.	うきはブランド推進課	5,769	【森林セラピー活性化支援委託料】 プロポーザルによる事業者公募 6/13公募開始、6/22一次審査、6/29二次審査、7/11契約 事業の内容 ・森林セラピーPR動画製作⇒現在、委託先が製作中。11月22日セラピー10周年事業で映像の部分お披露目を予定 ・森林セラピーを活用していただく企業(団体)との提携を目指す⇒現在調整中、現在市外1社・市内1社説明、今後10社程度訪問予定 ・企業及びメディア向けモニターツアー⇒年内に実施予定 ・市外でのPRイベント⇒動画製作完了後に、福岡市内で実施する予定 その他森林・温泉活用健康プログラム開発事業や木材関連産業活性化プロモーション事業と調整を行いながら進めております。 【森林セラピー推進事業費】 講師謝礼金(10月～12月の講師謝金)、消耗品、印刷製本費(イベントチラシ作成済)、広告料(雑誌への告知、シティ情報福岡)、森林セラピーデザイン委託料(【済み】10月～11月の企画デザイン)、森林セラピーロード管理委託料(案内人協会による草刈り等)、原材料費(年度内に高校生とテップを敷く作業を予定)
	森林・温泉連携による健康産業創出	源泉ブランド形成事業/森林・温泉活用健康プログラム開発事業/森林・温泉・健康プロモーション事業	森林セラピーやトレイルランなどの山間部の魅力を市内国民保養温泉地と連携させる事業。滞在ツアーの実用化に向けたモニター検証や対外的なプロモーション活動を実施する	①- ④-	3. 5.	うきはブランド推進課	15,000	・源泉ブランド形成事業、森林・温泉活用健康プログラム開発事業、森林・温泉・健康プロモーション事業を包括契約:(株)JTB 福岡支店 ・以下の事業内容について、9月に関係者による第1回の協議会を開催し、今年度の取り組み内容を決定した。 【温泉ブランド形成】 ・前年度のモニタリング調査結果による科学的根拠に基づいたデータ及び福岡県内唯一の国民保養温泉地であることや、うきははテロワール等を活用しうきはの特産品を活かした「うきはの温泉ブランド」を形成する。「地元の農家や事業者等と連携した、お土産セットの開発、販売支援」「うきはの温泉」ロゴ、グッズ、ノベルティー等の作成」 【森林・温泉活用健康プログラム開発】 ・観光だけでなく、リピーターづくりを目的としたツアーを企画提案し、温泉による健康促進効果を森林に結びつけた森林・温泉活用健康プログラムの開発・実施すること。さらに各種関係団体(ウキハコ等)と連携し継続的に実施できる体制を構築する。 ・森林セラピー等を活用した健康促進につながる体験プログラムの開発と試験的実施 ・各旅館と連携した温泉弁当、温泉料理の開発 ・体験プログラム開発・実施に係る継続した体制整備の構築 【森林・温泉・健康プロモーション】 ・うきはの温泉の特徴である「5つのやわらか」や福岡県内唯一の国民保養温泉地であること等をPRすることで、他温泉地区との差別化を図り、関係団体と連携した戦略を立て、より効果的なプロモーション活動を行う。 ・「うきはの温泉」のホームページ作成 ・既存パンフレットの増刷(2万部程度) ・各種イベント等のプロモーション活動
							46,769	

採択事業名	事業名	事業項目	事業の目的と概要	総合戦略		所管	事業費 (予算) 千円	(10月1日現在)進捗状況と今後の展開
				基本方針	プロジェクト			
5 「うきは」は「まるごとサテライトワーク推進プロジェクト」	サテライトオフィス等の整備に係るソフト事業	サテライトオフィス等に係る誘致トップセールス	働き方改革等で勤務地を選ばない選択制の導入に関心及び積極的に取り組む東京都市圏の企業に対し、当市での勤務環境や受け入れ体制の説明等を行う	①- ②-	2. 1.	うきはブランド推進課	1,350	・都内で開催される民間企業中心の「働き方改革」等勉強会に参加し、トップセールスの時間を設け、合宿型ワークショップ等を活用した企業の誘致並びに関心の高い企業等を訪問予定。 ・第1回10月15日から16日に実施。第2回を11月22日に開催する等、計画的に実施し、着実な誘致につなげてゆく。
		「WORK FROM ANYWHERE & ANYTIME」合宿型ワークショップ実施事業	企業担当者を対象に、短期のお試し勤務等を実施し、実際に勤務できる環境として適当かなど、課題抽出も含めた調査をワークショップ形式で開催する	④-	1.	うきはブランド推進課	5,000	・合宿型ワークショップ実施事業の公開型プロポーザルに向け公募を開始した。結果、1事業所からの参加表明があり、1次審査を通過した段階である。今後、10月9日実施の2次審査(プレゼンテーション)を経て、正式に委託事業所が決定する予定。 ・今後、都内での「うきは市」をテーマにした地域創生の実践塾を開催し、働き方改革、テレワーク等の地方勤務を実施または検討している企業等を対象に実施予定。併せて、うきは市内での都市部企業お話し勤務等モニター開催、地域住民とのワークショップの開催等を行い、課題解決に努めていく。
		サテライトワーク等に活用できる市遊休施設等の都市部企業とのマッチング事業	廃校等の遊休施設の活用策として、企業等への利用意向調査や利用に向けた地域等との調整を行い、マッチング事業に取り組む	④-	1.	企画財政課	7,000	・マッチング事業を事業者へ委託して実施するため、公募型プロポーザル方式による事業者設定を行っている。9月7日に公告を行い、10月5日の二次審査を経て、委託事業者を決定する見込みである。
		インターネット環境システム構築	企業が安心して仕事ができるセキュリティ能力の高いインターネット環境を整えとともに、仕事ができる環境づくりを行う	②- ④-	1. 1.	うきはブランド推進課	3,800	・施設の完成時期等と、お話し勤務利用者などのヒアリングを行い、検討してゆく。
	サテライトオフィス等の整備に係るハード事業	U-BIC設計	IT・プログラミング教育等に関する講義が可能となるリカレント教育の拠点として活用可能な環境を整える	②- ④-	1. 1.	うきはブランド推進課	3,200	・現在、事業執行内容について協議中。今後11月頃に設計業者を決定し、今年度末までに設計を行う。 ・次年度に工事事業者を決定し、工事発注する。
		鏡田屋敷整備	トイレの改修やテレビ会議が可能なシステム導入等、オフィス機能として必要な整備を行う	②- ②- ④-	1. 4. 1.	生涯学習課	11,000	・インターネット接続及び配線工事の手配を行った。トイレの改修については建築係が図面作成中で、完成次第、工事の入札を実施する予定である。また、オフィスとして機能させるための機器の選定や、配線関係の検討を進めている。
							31,350	

平成30年度地方創生拠点整備交付金採択事業状況

採択事業名	事業名	事業項目	事業の目的と概要	総合戦略		所管	事業費 (予算) 千円	(10月1日現在)進捗状況と今後の展開
				基本方針	プロジェクト外			
1. 産学官連携による「うきは6次産業化研究開発・事業化支援センター」を拠点とする食品加工支援機能強化推進計画	6次産業化研究開発・事業化支援センター整備事業	6次産業化研究開発・事業化支援センター整備事業	6次産業の推進に取り組み、農産物の有効利用や新たな特産品の開発及び製品の高付加価値化による新たなうきはブランドの構築を図る	①	2.	農林振興課	130,000	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産者、商工業者等が取り組む果樹、野菜等の加工生産の促進及びその加工品の品質向上や高付加価値化を可能にする為の施設を整備する。 ・次年度以降のソフト面(運営・維持管理等)に関してJA等関係機関等と協議中。 ・ハード面については設計業務を委託して、施設の設計及び施設内機器の協議を実施中。11月中旬に設計を終え、12月を目途に工事業者を決定して、今年度中の竣工を目指す。
				②	4.			
				③	5.			
				④	6.			
							130,000	

平成30年度地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)採択事業状況

採択事業名	事業名	事業項目	事業の目的と概要	総合戦略		所管	事業費 (予算) 千円	(10月1日現在)進捗状況と今後の展開
				基本方針	プロジェクト外			
1. 地域コミュニティ活性化支援事業	地域コミュニティ支援事業	地域コミュニティ支援事業	協働のまちづくりを推進するため、うきは市内11の地区自治協議会の運営に対して、運営支援交付金による財政支援や改修工事を行い、コミュニティ活動を活性化させ、地域の経済的な基盤を形成し、移住・定住の促進を図る	②	2.	市民協働推進課	118,106	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治協議会から要望されていた今年度の改修工事は、すべて完了し、コミュニティ活動促進を図ることができた。特に千年地区と大石地区では、駐車場が整備され、駐車可能台数がかなり増えたことでコミュニティセンターへの来館が、し易くなった。 ・毎月1回、各地区自治協議会役員が集まり、運営や問題点等の意見交換を行っている。その中で平成27年に策定した「地域計画」で挙げられている課題の解決へ勉強会を開催し、事業計画で位置付ける移住定住の基盤となる自治協議会活動での対応策を協議した。(4月:防災対策、6月:行政区再編、7月:行政区未加入問題、男女共同参画、8月:耕作放棄地問題、9月:地域づくり活動費補助金、10月:行政区未加入問題・行政区再編、交通サービス、コミュニティビジネス、空き家利活用)
				③	3.			
				④	4.			
					1.			
							118,106	